

Audrey Hepburn

William
Wyler

Gregory
Peck

女優
たちが
愛した
巨匠
が

Les amours des maestros

企画展

Jean Renoir

Françoise
Arnoul

Sophia Loren

Vittorio De Sica

鎌倉市川喜多映画記念館

2017.12.22(金)～2018.3.11(日)

企画展観覧料

一般 200円(140円)

小・中学生 100円(70円)

※()内は20名以上の団体料金

展示協力

株式会社 近代映画社
早田雄二実行委員会
東京国立近代美術館フィルムセンター
根本隆一郎氏 / 原川順男氏 / 横田寿文氏

デザイン: 相馬敬徳 (Rafters)

Marlene
Dietrich

Josef von
Sternberg

企画展

巨匠が愛した女優たち

スポットライトを
フォーリン・ラブ
浴び、『Falling in love again』と歌

う『嘆きの天使』のマレーネ・ディートリッヒ。

かつて『光の魔術師』と呼ばれた名匠ジョセフ・

フォン・スタンバーグは、照明と撮影の技術を駆使して

ディートリッヒの脚線美を余すことなく映し出し、そこにひ

とりの女優をつくりあげました。本企画展ではこのように巨匠

が愛し、ヒロインとしてスクリーンに煌めかせた女優たちを特

集します。陽気で快活なイングリッド・バーグマンに、不安に

怯える女性を演じさせ、アカデミー賞主演女優賞をもたらした

ジョージ・キューカー監督の『ガス燈』。「ワルを演じてベテ

イほど活きる女優はいない」と謳われた大女優ベティ・デイヴ

イスの貫禄が光る『イヴの総て』。ダニエル・ダリユーの美貌

が観客の誰しもを虜にしよう『赤と黒』。巨匠ジャック・

フェデーとのコンビで常に聡明な女性を演じた巴里の女将フラ

ンソワーズ・ロゼーの『ミモザ館』。シモーヌ・シニョレが

世にも恐ろしい女性を演じた『悪魔のような女』等々、

名作をそろえました。演技と演出の見事なコンビネー

ションによって、クールにもチャーミングにも

様変わりする女優の輝きをこの機

会にご堪能ください。



上: ジョージ・キューカーとマリリン・モンロー、イヴ・モンタン。中: アルフレッド・ヒッチコックとティッピン・ヘッドレン 下: ビリー・ワイルダーとオードリー・ヘプバーン

After talk

『愛とサスペンス』をめぐる

三浦哲哉×月永理絵

映画研究者

編集者/ライター

『サスペンス映画史』、『映画とは何か——フランス映画思想史』を近年刊行された三浦哲哉さんと、映画と酒の小雑誌『映画横丁』編集人/ライターの月永理絵さんに、フランス映画とアメリカ映画における『愛とサスペンス』をめぐる上映後にお話をさせていただきます。



PART I

特別上映『悪魔のような女』
+トークイベント

フランス映画篇

2018.1.24(水) 13:30~

一般 1500円

小・中学生 750円

チケット発売日: 12月16日(土)

PART II

特別上映『ガス燈』
+トークイベント

アメリカ映画篇

2018.2.22(木) 13:30~

一般 1500円

小・中学生 750円

チケット発売日: 1月20日(土)

Vittorio
De Sica

Sophia
Loren

1月の上映作品 ※1.24(水)は特別上映『悪魔のような女』+トークイベント

1 赤と黒 途中休憩あり

1.8(月・祝)、10(水)、11(木)
各日13:00~



文豪スタンダールの名著の映画化。主人公の美男子が恋に落ちる年上の貴婦人を演じたのは、今年100歳で人生の幕を閉じたフランスの女優ダニエル・ダリユー。絶世の美女D・ダリユーと貴公子G・フィリップの織りなす文芸映画の芳醇な世界。

1954年/フランス/カラー/Blu-ray/193分
監督：クロード・オータン＝ララ 出演：ダニエル・ダリユー、ジェラルド・フィリップ、アントネッラ・ルアルディ

2 ミモザ館

1.12(金) 10:30~ / 14:00~
13(土)、14(日) 14:00~



南仏で下宿屋を営む女将が、かつて我が子のように育てた男が自堕落な生活を送っていること知り、彼を再び引き取り世話を焼くうちに芽生える愛情を描く。監督の夫人であり主演女優のロゼーの凛とした存在感が作品に趣を与えている。

1935年/フランス/白黒/35mm/110分
監督：ジャック・フェデー 出演：フランソワーズ・ロゼー、ポール・ベルナル、アンドレ・アレラム、リース・ドラマル、アルレッティ

3 悪魔のような女

1.23(火) 10:30~ / 14:00~
24(水) 13:30~、25(木) 14:00~



『めまい』の原作でも知られるボワロー＝ナルスジャックの小説の映画化。三角関係の妻と愛人が共謀して夫を殺害する計画を念入りに立てる。病妻ヴェラ・クルーゾーと悪女役のS・シニョレ、対照的な性格のふたりを見事に特徴づけている。

1955年/フランス/白黒/DCP/116分
監督：アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー 出演：シモーヌ・シニョレ、ヴェラ・クルーゾー、ポール・ムーリス、シャルル・ヴァネル

4 気狂いピエロ

1.26(金) 10:30~ / 14:00~
27(土)、28(日) 14:00~



ゴダールのミュージックだったアンナ・カリナが本作で着ている赤のワンピースや犬の形の化粧ポーチは、どれも可愛らしくて印象的。パリから南仏に車で縦断する主人公のふたりの逃避行は、物語の最後にランボオの詩が流れることでも有名。

1965年/フランス＝イタリア/カラー/DCP/105分 監督：ジャン＝リュック・ゴダール 出演：アンナ・カリナ、ジャン＝ポール・ベルモンド、レイモン・ドヴォース、サミュエル・フラー

2月の上映作品 ※2.22(木)は特別上映『ガス燈』+トークイベント

5 ローマの休日

2.6(火) 10:30~ / 14:00~
7(水)、8(木) 14:00~



オードリー・ヘプバーンというハリウッド・スターを誕生させ、彼女の髪型やファッションが一時時代を画するほどの大旋風を巻き起こした名作。トランポの優れた脚本とワイラーの演出手腕が、オードリーの魅力を存分に引き出している。

1953年/アメリカ/白黒/DCP/118分
監督：ウィリアム・ワイラー 出演：オードリー・ヘプバーン、グレゴリー・ペック、エディ・アルバート、テュリオ・カルミナティ

6 おしゃれ泥棒

2.9(金) 10:30~ / 14:00~
10(土)、11(日・祝) 14:00~



オードリーがジバンシィの衣裳に身を包み、赤い車でパリの街に颯爽と登場する本作は、ワイラー監督が随所に散りばめたユーモアの光るロマンティック・コメディ。ピーター・オートウールの飄々とした役回りもオードリーとの相性抜群。

1966年/アメリカ/カラー/DCP/123分
監督：ウィリアム・ワイラー 出演：オードリー・ヘプバーン、ピーター・オートウール、イーライ・ウォラック、ヒュー・グリフィス、シャルル・ボワイエ

7 ガス燈

2.20(火) 10:30~ / 14:00~
21(水) 14:00~、22(木) 13:30~



夫の謀略で心理的に追い込まれてゆくバーグマンの不安な面持ちと、彼女を追い込むボワイエの冷酷な演技が冴えるサスペンス映画。本作のオスカー受賞後、バーグマンは『白い恐怖』『汚名』などのヒットcock作品に出演することとなる。

1944年/アメリカ/白黒/35mm/114分
監督：ジョージ・キューカー 出演：イングリッド・バーグマン、シャルル・ボワイエ、ジョセフ・コットン、メイ・ウィッチィ、アンジェラ・ランズベリー

8 イヴの総て

2.23(金) 10:30~ / 14:00~
24(土)、25(日) 14:00~



ブロードウェイの舞台裏で火花を散らす、ベテラン女優と新進女優の名声とプライドを賭けた戦いを描くバックステージもの。アカデミー賞6部門を受賞。当時44歳のベティ・デイヴィスは誇り高い娼妓の大家女優マーゴ・チャニングを熱演した。

1950年/アメリカ/白黒/DCP/138分
監督：ジョセフ・L・マンキウィッツ 出演：ベティ・デイヴィス、アン・バクスター、ジョージ・サンダース、セレステ・ホルム、マリリン・モンロー

3月の上映作品

9 裏窓

3.2(金) 10:30~ / 14:00~
3(土)、4(日) 14:00~



足を骨折し車椅子生活を送るカメラマンの視点から、アパートの住人たちの様々な人間模様を垣間見る。グレイス・ケリーはファッションモデルというエレガントな役柄ながら、動けない主人公にかわり活発に行動するおてんばなヒロインを好演。

1954年/アメリカ/カラー/DCP/112分
監督：アルフレッド・ヒッチコック 出演：グレイス・ケリー、ジェームズ・スチュワート、セルマ・リッター、レイモンド・バー、ウィンデル・コーリー

10 山猫

途中休憩あり

3.6(火) 10:00~ / 14:00~
7(水)、8(木) 13:00~



舞踏会のシーンは貴族の末裔である原作者ランペドゥーサの所有する美術品を使い、実際の貴族たちも撮影に参加した。ランカスターとドロン両雄が対立する新旧の世代を象徴し、新興ブルジョワの娘役カルディナレが華麗にワルツを踊る。

1963年/イタリア＝フランス/カラー/35mm/187分
監督：ルキノ・ヴィスコンティ 出演：パート・ランカスター、アラン・ドロン、クラウディア・カルディナレ、ジュリアーノ・ジェンマ

11 追想

3.9(金) 10:30~ / 14:00~
10(土)、11(日) 14:00~



第二次世界大戦時ドイツ占領下のフランスを舞台に、愛する妻子を惨殺された医師の悲愴な復讐を描く。夫に愛され、優しく美しい妻を演じたロミー・シュナイダーは円熟した演技をみせ、第1回セザール賞の最優秀女優賞に輝いた。

1975年/フランス/カラー/DCP/102分
監督：ロベール・アンリコ 出演：ロミー・シュナイダー、フィリップ・ノワレ、ジャン＝ブイエス、マドレーヌ・オズレ、ヨアヒム・ハンセン

映画鑑賞料金

一般 1,000円

小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。
※チケットが完売した場合はご入場いただけません。
※特別上映の料金は異なりますのでご注意ください。

チケット発売日

1月の上映作品……12月16日(土)

2月の上映作品……1月20日(土)

3月の上映作品……2月17日(土)

英語字幕付日本映画上映会

一般1000円 小・中学生500円(入館料含む)
チケット発売日:1月20日(土)



西鶴一代女

2.12(月・振) 10:30~ / 14:00~
14(水)、15(木) 14:00~

江戸時代、数々の男との巡りあわせから転落の人生を辿り、果ては街娼にまで身を落とすお春の一生を田中絹代の熱演と麗麗なカメラワークで描く。本作のヴェネチア国際映画祭での受賞をきっかけに、溝口の国際的な評価が一気に高まった。

1952年 / 白黒 / 35mm / 137分 監督: 溝口健二 原作: 井原西鶴 出演: 田中絹代、山根寿子、三船敏郎、宇野重吉、菅井一郎

優秀映画鑑賞推進事業

一般500円 小・中学生250円(入館料含む)
チケット発売日:1月20日(土)



華岡青洲の妻

2.16(金) 10:30~
2.17(土) 14:00~

日本で初めて麻酔薬を開発した紀州の医師・華岡青洲と、彼のために自ら人体実験を申し出る妻と母の対立を、市川雷蔵・若尾文子・高峰秀子という3人の名優を得て映画化した作品。特に市川の母親を演じた高峰の恐ろしさが際立つ。

1967年 / 白黒 / 35mm / 99分 監督: 増村保造 原作: 有吉佐和子 出演: 市川雷蔵、若尾文子、高峰秀子、渡辺美佐子



にごりえ

2.16(金) 13:30~
2.18(日) 10:30~

明治の女流作家・樋口一葉による短篇小説を題材に、全盛期にあった文学座が発案・製作し、今井正が手がけたオムニバス映画。過酷な状況を生きざるをえない女たちの光と闇が捉えられている。キネマ旬報ベスト・テン第1位。

1953年 / 白黒 / 35mm / 130分 監督: 今井正 原作: 樋口一葉 出演: 淡島千景、久我美子、田村秋子、丹阿弥谷津子、杉村春子



稲妻

2.17(土) 10:30~

父親の違う兄弟たちの身勝手に無気力な生き方に反撥する末っ子を中心に、下町の庶民の生活を静かに見つめた名作。母親を演じた浦辺粂子の名演が光る。成瀬が映画化した6作の林文学のうち、本作は『めし』(1951年)に続く2作目にあたる。キネマ旬報ベスト・テン第2位。

1952年 / 白黒 / 35mm / 87分 監督: 成瀬巳喜男 原作: 林芙美子 出演: 高峰秀子、三浦光子、香川京子、浦辺粂子、中北千枝子



伊豆の踊子

2.18(日) 14:00~

当時日活の若手スターだった吉永小百合と高橋英樹が主演した、川端康成による同名小説4度目の映画化。現在と過去でカラーと白黒を使い分けたり、吉永に二役を演じさせるなど、これまでと異なる試みが随所に見られる。原作者の川端からも高く評価された。

1963年 / カラー / 35mm / 87分 監督: 河合克巳 原作: 川端康成 出演: 吉永小百合、高橋英樹、南田洋子、浪花千栄子

主催: 川喜多・KBSグループ / 文化庁 / 東京国立近代美術館フィルムセンター
特別協賛: 木下グループ / 木下グループ
協力: 株式会社オーエムシー

巨匠が愛した女優たち

日本映画篇

企画展「巨匠が愛した女優たち」では、主に外国映画の展示・上映を行っています。日本映画にも数多くの「巨匠×女優」の強い結びつきを見ることが出来ます。今回、日本映画における「巨匠が愛した女優たち」というテーマのもと、当館で毎年行っている「優秀映画鑑賞推進事業」ならびに「英語字幕付日本映画上映会」を開催します。溝口健二、成瀬巳喜男、増村保造、今井正、西河克巳といった監督たちと、彼らの作品で輝きを放った田中絹代、高峰秀子、杉村春子、若尾文子、淡島千景、久我美子、吉永小百合ら女優たちの忘れたい名コンビぶりをお楽しみください。

2.12(月・振)

10:30~ 西鶴一代女(英語字幕付)

14:00~ 西鶴一代女(英語字幕付)

2.14(水)

14:00~ 西鶴一代女(英語字幕付)

2.15(木)

14:00~ 西鶴一代女(英語字幕付)

2.16(金)

10:30~ 華岡青洲の妻

13:30~ にごりえ

15:50~ 映画談話室 ゲスト:川良浩和氏

2.17(土)

10:30~ 稲妻

14:00~ 華岡青洲の妻

2.18(日)

10:30~ にごりえ

14:00~ 伊豆の踊子

映画談話室

巨匠が愛した女優 杉村春子

文学座の中心的存在として演劇界にその名を遺すだけでなく、140本を超える映画にも出演し、小津・成瀬をはじめ数々の巨匠に愛された女優・杉村春子について、『忘れられないひと、杉村春子』(新潮社)の著者である川良浩和さんにお話をさせていただきます。
※先着51名

川良浩和

1947年生まれ、佐賀県出身。早稲田大学第一文学部卒。「NHKスペシャル」など二百本に及ぶ報道ドキュメンタリーを制作。新聞協会賞、文化庁芸術祭賞、放送文化基金賞など受賞番組多数。現在、ノンフィクション作家、プロデューサー、ドキュメンタリー塾川良組監督。日本エッセイスト・クラブ会員。著書に『千年のうたかた』、『闘うドキュメンタリー』、『我々はどこへ行くのか』ほか。



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、

12月29日(金)~1月3日(水)、

1月9日(火)、2月13日(火)

主催: 川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

2018年度友の会 募集のご案内

年会費2000円
1月4日(木)から募集開始!

特典(抜粋)

- 映画鑑賞引換券2枚
- チラシをご自宅へ郵送
- 展示観覧料 無料

チケット取り扱い お問合せ先

川喜多映画記念館窓口
0467-23-2500

たらば書房(鎌倉駅西口)
0467-22-2492

島森書店(鎌倉駅東口)
0467-22-0266

上州屋(大船駅東口)
0467-43-1000